

DOCUMENT Eye

series—206

混合交通を観察する

平成18年の自転車乗車中の交通事故発生件数は17万4262件で交通事故全体の約2割を占めるとともに、この10年間で1.25倍に増加している。死傷者は全国で死者812人、負傷者17万4641人の計17万5453人だった。

自転車乗車中の死傷者数を年齢層別に見ると、負傷者数では、16〜24歳の若者が最も多く21.5%、死者では高齢者が約6割(58.5%)を占め、圧倒的に多い。

観察中、高齢者(男性)の乗った自転車が信号手前の



友達と並進しながら交差点を通行しようとする高校生

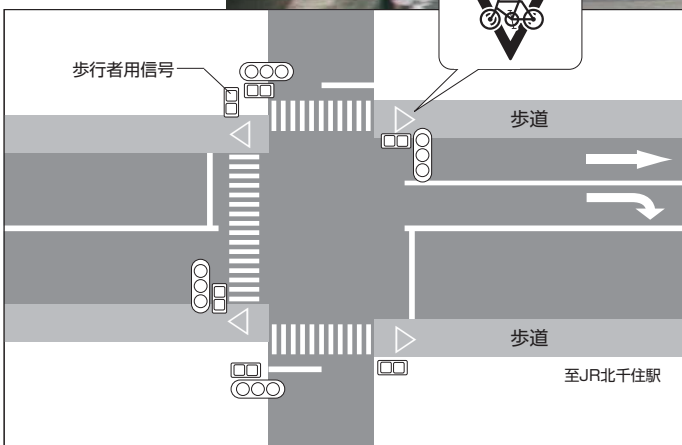


片手運転の高齢者

自転車利用者は信号機のある交差点で左右確認をしているか?

● WHY

が約6割(58.5%)を占め、圧倒的に多い。



- 観察場所 / 東京都足立区千住中居町付近
- 観察日 / 3月15日 (木曜日)
- 天候 / 晴れ
- 観察時間 / 15:25~16:25
- 観察者 / 4名

● WATCHING



携帯電話を使用しながら信号を無視して横断する自転車

● PROPOSE

で止まりきれずに停止線を越え、交差点の側から来た成人女性の自転車の前輪に接触した。また、右折するクルマと、右側の歩道を直進しようとしていた自転車がお互いに気づくのが遅れ、あわてて自転車側も急停止する様子が観察された。交差点を横断中に、携帯電話を使用した。友達と並進する自転車利用者も数人見られた。また、ペットの犬を前かごに入れてフラついて走行する成人女性も観察された。

信号無視をする自転車も12.3%

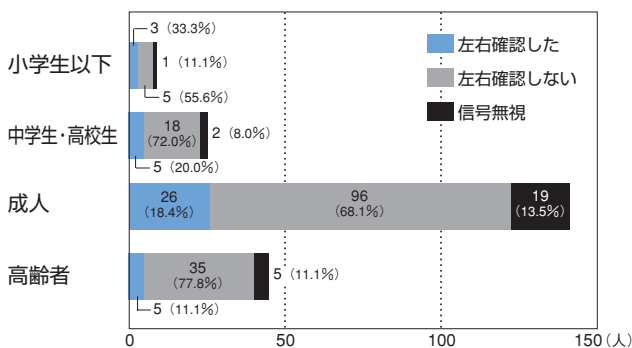
信号の確認だけでなくしっかりと左右確認を

観察の結果、1時間に交差点を横断した自転車は計220台。そのうち、左右確認を行なったのは220人中39人(17.7%)。赤信号になってから横断した信号無視の自転車は27人(12.3%)だった。

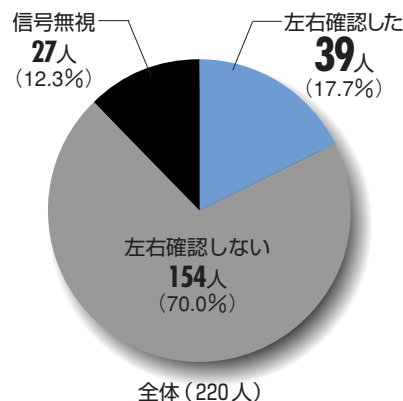
自転車の多くは、左右の安全確認をせずに交差点を横断していた。交差点は事故の多発地帯。自転車は信号が青だと、左右の安全確認が不十分なまま交差点を横断する場合があります。右左折してくるクルマの存在に気づくのが遅れてしまう。ドライバーやライダーも、交差点を右左折する際には自転車や歩行者が急に飛び出して来るかもしれないと意識して、周囲の安全を確認することが大切である。

号を守り、さらに信号を見るだけでなく、横断する前に左右の安全を確認してから発進することが重要である。また、夜間は目立つ服を着て、ライトの点灯を必ず行ってほしい。

● 信号機のある交差点を横断する自転車利用者の左右確認状況



※小学生以下(12歳以下)、中学生・高校生(13~18歳)、成人(19~64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による。



● 信号機のある交差点を横断する自転車利用者の左右確認状況を観察する

1時間に交差点を横断した自転車利用者220人中

左右の安全確認を行ったのは39人(17.7%)

★ご愛読者のみなさまへ

今年度もSJでは、交通安全に関わる様々な話題を取り上げ、充実した紙面づくりに努めてまいります。特に自転車に関する話題に注目し、シリーズとして年3回ほど特集を予定しております。今後ともSJをご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。(SJ編集部)